

【公民連携の動き紹介 オリコンサルが公園 PFI 7月セミナー】

公民連携の動き紹介

オリコンサルが公園

PFI 7月セミナー

オリエンタルコンサルタンツは7月5、6の両日、都市公園に着目した公民連携セミナー「公園管理運営の最前線―進化する公園PPP/PFI―公民連携のカタチ」を東京都江東区の新木場タワーで開く。国土交通省のPPP協定

パートナーとして、全国の自治体職員や民間事業者を対象に、公民連携事業推進の意識醸成を図り、事業展開に向けた勘どころを学んでもらうのが目的。これを皮切りに2018年度は東京、大阪、名古屋で計5回のセミナー開催を予定している。

公園緑地は老朽化の進行に伴い魅力が低下し、公園空間の有効活用が求められる一方で、地方公共団体は財政面や人的な制約などから都市公園の新規整備や適切な施設更新もままならない状況にある。このため、国は昨年、公募設置管理制度（PFI）を導入するなど公民連携手法を活用して公園や地域の再生と活性化を目指している。

今回のセミナーでは、こうした公民連携の新しい動きや実績を上げている自治体、民間企業の事例などを紹介するほか、1日目終了後には名刺交換会・交流会を開き、参加者のネットワークづくりを促す。

5日は国交省総合政策局の沓澤隆司社会資本経済分析特別研究官が「公共施設における公民連携について」、公園

プロデューサーの小口健蔵氏が「稼ぐ公園の作り方」と題して講演。6日は国交省都市局の町田誠公園緑地・景観課長が「都市公園における公民連携について」、池邊このみ千葉大学院教授が「都市公園における公民連携の胆」と題して講演する。

また、千葉市や名古屋市のほか、コンビニエンスストアやアウトドア企業、造園会社、公園財団などの担当者が取り組み事例を紹介するとともに、オリエンタルコンサルタンの担当者が事業推進のポイントを解説する。

両日とも時間は午前10時25分から午後4時45分まで。5日の名刺交換会・交流会は午後5時から。定員は200人。無料（交流会は会費制）。申し込みは電子メール（seminar_info@oriconsul.com）かオリエンタルコンサルタンツ関東支店事業企画部にファクス（03-93311-8023）で26日までに。